

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)学研コソファンFujiisawaSST	階数	地上4F
建設地	〒 静岡県富士宮市大下町4176番11号-1号、4176番15号-1号 区 敷 地、静岡県富士宮市大下町4176番16号の一部 市区番号: Fujiisawaスタイルスマートタウン土地開発管理事業49号の一部	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、地区計画区域 種別住居地区、土地開発管理事業地区	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2015年7月8日
敷地面積	3,446 m ²	作成者	株式会社シスケア
建築面積	1,696 m ²	確認日	2015年7月10日
延床面積	5,181 m ²	確認者	株式会社シスケア



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 84%
 ③上記+②以外の 82%
 ④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.5

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 ①タウンデザインガイドに基づき、周辺地域と調和する計画とした。 ②藤沢の植生と対応する植栽計画とし、環境に配慮したランドスケープの創出を図った。 ③高効率で省エネルギーな設備システムとし、長期的な視点から経営に資する計画とした。		その他 ①ガスコージェネレーション設備の採用。
Q1 室内環境 ①日射遮蔽及び断熱性能。 ②風光の積極的導入。 ③バルコニー底による屋光制御。 ④中庭設置による自然換気性能の確保、新鮮外気の導入。 ⑤ F★★★★建材を使用。 ⑥全館禁煙。 ⑦加湿器を常設。	Q2 サービス性能 ①内装材、換気ダクト、給排水管に長寿命仕様を採用。 ②CGバース及び模型による検討を実施。	Q3 室外環境 (敷地内) ①外構の積極的な緑化。 ②街のマスタープランに基づいた緑化計画。 ③歩道空間の整備。 ④使用者ヒアリングの実施。 ⑤中高木やバルコニー底による日影の形成。
LR1 エネルギー ①建物熱負荷を抑制。 ②ライトコートを計画。 ③奥行のあるピロティー、バルコニー底。	LR2 資源・マテリアル ①ODP=0かつGWP>50の断熱材の採用。 ②OAフロアなどの採用による再利用可能性向上。	LR3 敷地外環境 ①十分な駐車・駐輪場台数の確保。 ②管理専用の駐車場を設置。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される